

ベルリン日独センター
厚生労働省
ドイツ連邦保健省

日 程 案

日独シンポジウム

高 齢 者 ケ ア の 新 機 軸 と 介 護 職 の 役 割

2020年2月6日(木)

ベルリン日独センター

Japanisch-Deutsches Zentrum Berlin, Saargemünder Straße 2, 14195 Berlin, Germany

2020年2月5日現在

会議言語:ドイツ語、日本語(同時通訳つき)

09.00 受付開始

開会の挨拶

09.30 - 09.35 清田とき子(ベルリン日独センター副事務総長)

09.35 - 11.15 基調講演

司会: フェーベ＝ステラー・ホルドグリューン(Dr.、ベルリン日独センター・プロジェクトマネジメント部長)

09.35 - 09.50 ザビーネ・ヴァイス(ドイツ連邦保健省、政務次官)

09.50 - 10.05 渡辺正道(厚生労働省大臣官房国際課国際労働・協力室長)

10.05 - 10.30 全体討議

10.30 - 11.15 休憩

11.15 - 13.00 第一部「看護・介護ケアにおける多職種連携(資格、組織、人員ミックス)」

司会: ビルギット・ナーゼ(ドイツ連邦保健省第4局(介護保険・予防)局長)

11.15 - 11.30 はじめに——ドイツ連邦政府の看護・介護政策の中心的な課題としての
看護・介護専門職の状況

ビルギット・ナーゼ(ドイツ連邦保健省第4局(介護保険・予防)局長)

11.30 - 11.50 多職種連携——通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションにおける例

石田和也(厚生労働省老健局老人保健課長補佐)

11.50 - 12.10 人員配置——科学的知見に基づく手段と手順

ハインツ・ロートガンク(Prof. Dr.、ブレーメン大学、不平等&社会政策研究センターSOCIUM)

12.10 - 13.00 全体討議

13.00 - 14.30 昼食休憩

14.30 - 16.30	第二部「医療保健・看護・介護サービスにおける看護・介護専門職の役割」 司会:中川敬介(大臣官房国際課長補佐)
14.30 - 14.50	日本の介護サービスにおける介護専門職の役割 佐々木淳也(厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長補佐)
14.50 - 15.10	看護・介護におけるスキルミックスと新しい役割——ドイツの経験および国際経験 クラウディア・マイヤー(Dr.、ベルリン工科大学ヘルスケアマネジメント学科研究助手)
15.10 - 16.30	全体討議

16.30 - 16.45	総括コメント 渡辺正道(厚生労働省大臣官房国際課国際労働・協力室長) ビルギット・ナーゼ(ドイツ連邦保健省第4局(介護保険・予防)局長)
16.45 - 18.00	レセプション